

INFORMATION



第8回国際下垂体後葉ホルモン学会 (VIIIth World Congress on Neurohypophysial Hormones) 開催のお知らせ

日時：2009年9月4日(金)～8日(火)
会場：北九州国際会議場メインホール及びイベントホール
<http://www.convention-a.jp/kokusai/>
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3-9-30

テーマ：Vasopressin & Oxytocin :
Focus in the Post-Genomic Era
(バズプレッシン&オキシトシン：
ポストゲノム時代に向けて)
主催：国際下垂体後葉ホルモン会議
会長：上田陽一(産業医科大学医学部
第1生理学教授)
大磯ユタカ(名古屋大学大学院医学系
研究科糖尿病・内分泌内科学教授)
*第36回日本神経内分泌学会との共
催です。

ホームページ：<http://www.wcnh2009.jp/>

演題(ポスター発表)締切：2009年6月1日(月)

参加費：一般30,000円，学生15,000円

*第36回日本神経内分泌学会との共催のため，両方の学会に参加する場合の参加費は一般32,000円，学生16,000円となります。

応募方法：上記ホームページよりお申し込み下さい。

バズプレッシン及びオキシトシンのみならず水・電解質に関わる基礎・臨床研究に携わる方々のご参加をお待ちしております。

事務局：産業医科大学医学部第1生理学
〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1
TEL：093-691-7420
FAX：093-692-1711
E-mail：wcnh2009@mbx.med.uoeh-u.ac.jp



第40回生理研国際シンポジウム： 「PAT-CVR 国際合同シンポジウム：アニオン輸送と細胞容積調節 (PAT-CVR 2009)」

開催日時：2009年8月3日(月)～6日(木)
開催場所：愛知県岡崎市明大寺町
自然科学研究機構
岡崎コンファレンスセンター

登録(早期登録：平成20年6月30日まで)

ホームページにて受付中

ホームページ：<http://www.nips.ac.jp/patcvr/>

問い合わせ：PAT-CVR事務局(patcvr@nips.ac.jp)

概要：

これまで世界主要都市において別々に開催されてきた International Symposium for Cell Volume Regulation (CVR：細胞容積調節国際シンポジウム) と International Symposium for Physiology of Anion Transport (PAT：陰イオン輸送国際シンポジウム) を、合同で国際シンポジウムとして開催します。この合同シンポジウムには、65名の国外シンポジストを含む国内外の最先端研究者が一堂に会し、研究紹介および両分野間をまたぐレク

チャー講演を通じて、分子・機能から病態までの最先端の知見および今後の方向性について討論を行います。多数の皆様の参加登録をお待ちしています。

(参加登録、プログラムおよびポスター発表についてはホームページをご参照下さい。)

組織委員長：岡田泰伸 (生理学研究所)

実行委員長：鍋倉淳一 (生理学研究所)



日本臨床体温研究会 第24回学術集会

日時：2009年8月29日(土)
会場：札幌市医師会館
募集：一般演題(国内広く募集いたします。)
発表内容：体温に関する基礎および臨床的研究
演題締切：2009年6月5日(金)
抄録：演題名、演者名、施設名、連絡先住所、電話番号、ファックス番号(E-mailアドレス)、本文400字を下記事務局E-mailまでお送り下さい。

お問い合わせ先：

〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目
291番地

日本臨床体温研究会演題申込/札幌医科大学医学部麻酔学教室内 日本臨床体温研究会事務局
雑誌「臨床体温」投稿先/札幌医科大学医学部麻酔学教室内「臨床体温」編集事務局

世話人会長：並木昭義

事務局担当：山内正憲

TEL：011-611-2111 (内線 3568)

FAX：011-631-9683

E-mail：clinical-temp@sapmed.ac.jp

*尚、雑誌への原著、症例等の投稿は随時受け付けておりますので、奮ってご投稿下さい。



千里ライフサイエンスセミナー

「ユビキチン研究の新展開：病態生理学的観点から」

日時：平成21年9月7日(月)10:00~16:10
場所：千里ライフサイエンスセンタービル 5階ライフホール
主催：財団法人千里ライフサイエンス振興財団
着眼点：エネルギー依存性タンパク質分解系の一部として発見されたユビキチン系は、その異常がガンや神経変性疾患などの原因になることや、ユビキチン化タンパク質を分解するプロテアソームの阻害剤が抗

ガン剤として認可されているなど、関与しない生命現象が存在しないと考えられるほどに私達の身体で重要な役割を演じています。しかも、ユビキチン系はタンパク質分解の枠組みを凌駕し、多彩な様式でタンパク質の機能制御を司っていることも解ってきました。

本セミナーでは、日本のユビキチン-プロテアソーム研究のトップランナーにユ

ビキチン研究の最前線を紹介していただきます。

コーディネータ：東京都臨床医学総合研究所 所長代行 田中啓二
大阪大学大学院生命機能研究科 教授 岩井一宏

プログラム：

1. はじめに

東京都臨床医学総合研究所
所長代行 田中啓二

2. 直鎖状ポリユビキチン化：NF- κ B 活性化に
必須な新たなユビキチン修飾系

大阪大学大学院生命機能研究科
教授 岩井一宏

3. 脂溶性生理活性物質によるユビキチン化制
御機構

東京大学分子細胞生物学研究所
教授 加藤茂明

4. がんの進展とタンパク質分解

筑波大学大学院生命環境科学研究科
教授 柳澤 純

5. 超分子複合体タンパク質分解酵素プロテア
ソームによる生体制御

東京大学大学院薬学系研究科
教授 村田茂穂

6. プロテオミクスが拓くユビキチン研究の
新地平：酵素—基質関係の網羅的解明にむけて

九州大学生体防御医学研究所
教授 中山敬一

7. おわりに

大阪大学大学院生命機能研究科
教授 岩井一宏

参加費：無料

定員：300名

申込方法：氏名、勤務先(所属)、〒所在地、電話番号を明記の上、E-mail で下記宛にお申込み下さい。事務局より受付メールを返送いたします。

申込先：(財)千里ライフサイエンス振興財団 セミナー Z4 係

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル20階
TEL:06-6873-2001 FAX:06-6873-2002

E-mail : tnb@senri-life.or.jp



2009 年度地球化学研究協会学術賞「三宅賞」および「奨励賞」候補者の募集

2009 年度地球化学研究協会学術賞「三宅賞」および「奨励賞」候補者を募集します。

当協会会員及び関連諸学会会員によるご推薦の何れでもお受けします。

下記の要領でご応募下さい。

—地球化学研究協会理事長 石渡良志—

2009 年度地球化学研究協会学術賞「三宅賞」および「奨励賞」候補者の募集

1. 三宅賞

対象：地球化学に顕著な業績を修めた研究者

表彰内容：賞状、副賞として賞牌および賞金

30万円、毎年1件（1名）

2. 奨励賞

対象：2009年4月1日の時点において40才未満で、地球化学の進歩に優れた業績を挙げ、将来の発展が期待される研究者

表彰内容：賞状および賞金10万円、毎年1～2件（1～2名）

3. 応募方法：地球化学研究協会のホームページ

からダウンロードした申請書に、略歴・推薦理由・研究業績などを記入し、主な論文10編程度（三宅賞）、2編程度（奨励賞）を添えて、

下記のあて先へ送付して下さい。
応募書類等は、三宅賞及び奨励賞
選考のためにのみ選考委員会など
で用いられます。

4. 締切日：2009年8月31日（月）
5. 地球化学研究協会ホームページ：
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/gra/>
6. 応募先：〒100-8212 東京都千代田区丸の内
1-4-5
三菱 UFJ 信託銀行リテール受託業務

部公益信託グループ
(公益信託) 地球化学研究基金
江川康治

7. 問合せ：地球化学研究協会事務担当まで、電子
メールでお願いします。
E-mail：eitaro1939@yahoo.co.jp
または t-sagi@m3.gyao.ne.jp

* 日本生理学会締切日：2009年8月10日（月）



京都大学国際シンポジウム「Cellular Approaches to Neuronal Signal Processing」のご案内

京都大学国際シンポジウムを下記の要領で開催
致します。

主 催：京都大学
日 時：2009年7月23日13:00~24日18:30
会 場：京都大学百周年時計台記念館 2階 国
際交流ホール
京都大学吉田キャンパス本部構内

参加費：無料

内 容：本シンポジウムでは、神経細胞の計算特
性メカニズムに関して興味深い成果をあ
げている研究者の最新の仕事を紹介し、
議論する事を目的としています。具体的
には、神経細胞の樹状突起や軸索の形態
及び電気的特性の詳細、神経細胞マイク
ロサーキットでのシナプス結合様式、シ
ナプス入力の加算原理様式、発火様式等
です。また、一般参加者のために、持ち
時間20分程度のショートトーク発表を

企画しています。上記に関連する演題を
募集します。

事前参加受付：5月11日~6月26日

ショートトーク抄録受付：5月11日~5月29日

講演者：

Jackie Schiller (イスラエル), Nelson Spruston
(米国), Mike Ludwig (英国), Veronica Egger
(ドイツ), Yousheng Shu (中国), Larry Trus-
sell (米国), 金子武嗣 (京都大学), 久場博司
(京都大学), 藤田一郎 (大阪大), 窪田芳之 (生
理研)

懇親会費(事前申込)：一般4,000円, 学生3,000円
詳細, 参加登録等は, 下記の web page をご覧下
さい。

<http://www.nbiol.med.kyoto-u.ac.jp/neuro2009/>
多数のご参加を御待ちしております。

開催委員：金子, 久場 (京大), 窪田 (生理研)
お問い合わせ先 E-mail：cortex@nips.ac.jp



生理学研究所・総研大 夏期体験入学のご案内

総合研究大学院大学 生命科学研究所 生理科
学専攻では、大学院進学先を探していらっしゃる
学部学生, 大学院修士課程学生の皆さんに生理研

での大学院生活, 研究生活がどのようなものか実
地体験して頂くための「体験入学プログラム」を
開講します。

詳細 <http://www.nips.ac.jp/daigakuin/summer/>
期間 2009年7月～9月の1週間程度
場所 生理学研究所 愛知県岡崎市明大寺町
字西郷中38
募集人数 20名程度
参加費 無料(旅費・ロジック宿泊費の一部補助
有り.)
応募資格 大学生・修士課程大学院学生
応募期間 4/27(月)～6/10(水)
応募方法 上記ホームページから応募下さい。
締め切り後、希望する研究室の担当教授にご紹

介します。具体的な日程、期間、実習項目については担当教授とご相談頂くことになります。

ご都合、ご要望が受け入れ部門と合致しない場合にはお断りする場合がありますので予めご了解下さい。

お問い合わせ先

総合研究大学院大学 生命科学研究所
生理科学専攻 生理学研究所 生体膜研究部門
深田正紀
TEL: 0564-59-5873
E-mail: mfukata@nips.ac.jp



日米セミナー・第2回 Cdk5 国際シンポジウム

神経の機能と変性を制御する多機能性プロテインキナーゼ Cdk5

Cdk5, a multifunctional protein kinase in nervous system
function and neurodegeneration

[日時] 2009年6月26日(金)～27日(土)

[会場] 首都大学東京 南大沢キャンパス 国際
交流会館 大会議室

[組織委員会] 久永真市(首都大), 大島登志男(早
大), 五嶋良郎(横市大), 富澤一仁(熊大)

[講演予定者] A. Almeida (Spain), J.A. Bibb (UTSW,
USA), A. Cole (Univ. Melbourne, Australia), K. Duff (Columbia Univ., USA), Y. Goshima (Yokohama City Univ. Japan), S. Humbert (CNRS, France), K. Herrup (Rutgers Univ., USA), S. Hisanaga (TMU, Japan), N. Ip (HKUST, HK), S. Jessberger (ETH, Switzerland), P. Juo (Tufts Univ., USA), T. Kawachi (Keio Univ. Japan), KT Kim (Postech., Korea), Y. Kim (Rockefeller Univ. USA), A. Kulkarni (NIH, USA), D. Lagace (Univ. Ottawa, Canada), K-Y. Lee (Univ. Calgary, Canada), Z. Mao (Emory Univ., USA), T. Ohshima (Waseda Univ. Japan), HC. Pant (NIH, USA), R. Qi (HKUST, HK), D. Qu (Univ. Ottawa, Can-

ada), K. Shah (Purdue Univ. USA), V. Tan (NUS, Singapore), K. Tomizawa (Kumamoto Univ. Japan), L-H. Tsai (MIT, USA), Y. Wang (Peking Univ, China), J. Yamauchi (NCH, Japan)

[参加費] 無料

[ポスター発表] ポスター発表も行います。Cdk5に関連するものでしたら、既に発表されたものでも結構です。Cdk5の研究者が集まっています。いろんな角度からdiscussionできることと思います。発表を希望される方は参加申し込み時にポスター希望としてご連絡ください。

[懇親会] 6月26日(金) 18:30より 懇親会費
3000円

[参加申し込み] 会場の収容人数が120名です。参加希望の方は下記までお名前、所属、連絡先、懇親会への出席をご連絡ください。

[連絡先]

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

首都大学東京 生命科学
専攻
神経分子機能研究室

久永眞市
Tel : 042-677-2769, Fax : 042-677-2559
E-mail : hisanaga-shinichi@tmu.ac.jp



うま味研究会 公開シンポジウム

「食における味とにおいの接点」

オーガナイザー 伏木 亨
(京都大学大学院農学研究科)

日時：2009年6月5日(金) 10:30~17:30
場所：有楽町朝日ホール
〒100-0006 東京都千代田区有楽町
2-5-1
有楽町マリオン 11F
Tel 03-3284-0131
交通アクセス→<http://www.asahi-hall.jp/yurakucho/access/index.html>

事前登録：☆事前参加登録が必要です。下記「申し込み方法」をご参照ください。

プログラム

- ◎「食の化学感覚シグナルのマリアージュ」
東原 和成
(東京大学大学院新領域創成科学研究科)
- ◎「アミノ酸を鼻でも“味わう”魚たち」
庄司 隆行(東海大学海洋学部海洋生物学科)
- ◎「食における学習性の共感覚」
坂井 信之
(神戸松蔭女子学院大学人間科学部生活学科)
- ◎「食品の匂いとフレーバーの開発」
斉藤 司
(長谷川香料株式会社フレーバー研究所)

- ◎「うま味とにおいのインターアクション」
伏木 亨(京都大学大学院農学研究科)
- ◎料理の専門家による話題提供
笹島 保弘
(イル ギオットーネ 京都/丸の内)
- ◎ワインの専門家による話題提供
鹿取みゆき(フード&ワインジャーナリスト)
- ◎パネルディスカッション

*プログラムは、うま味研究会ホームページ
<http://www.srut.org>にて随時更新いたします。
*プログラムは予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

■参加費■

1,000円、当日受付にて申し受けます。

■申し込み方法■

うま味研究会ホームページ <http://www.srut.org> からお申し込みください。

FAX 又は葉書の場合は、氏名、所属先、住所、電話番号、FAX 番号を明記の上、下記宛にお送りください。定員に達し次第、締め切らせて頂きます。

■連絡先■

うま味研究会 事務局
〒104-8315 東京都中央区京橋 1-15-1
TEL : 03-5250-8184/FAX : 03-5250-8403
E-mail : umami@srut.org
<http://www.srut.org>



千里ライフサイエンスセミナー

「臨床に繋がる癌幹細胞研究」

日時：平成21年8月25日(火)10:00~17:00

場所：千里ライフサイエンスセンタービル5階

ライフホール

東京医科歯科大学難治疾患研究所

着眼点：癌幹細胞は、悪性腫瘍の発生、治療抵抗性、再発、転移等に重要な役割を果たす。臨床応用に直結する可能性を秘めた癌幹細胞研究は造血器腫瘍が先行する形で進み、固形腫瘍でも精力的に検証が進んでいるのが現状である。本セミナーでは、主に固形腫瘍の癌幹細胞研究の動向をまとめ、近未来の臨床応用に繋がる内容として、特に若手研究者のスキルアップを目指したい。

コーディネーター：

大阪大学大学院医学系研究科 森 正樹
東京医科歯科大学難治疾患研究所 田賀 哲也

プログラム：

1. 消化器癌における癌幹細胞
大阪大学大学院医学系研究科
石井 秀始, 森 正樹
2. 肝胆膵領域における癌幹細胞研究の動向
横浜市立大学大学院医学研究科 谷口 英樹
3. グリオーマ幹細胞の性状解析
理化学研究所発生・再生科学総合研究センター
近藤 亨
4. 神経幹細胞の増殖能と多分化能の分子基盤から癌細胞制御を探索

5. 癌幹細胞のエピジェネティクスとポリコム遺伝子の機能
千葉大学大学院医学研究院 岩間 厚志
6. 幹細胞とがん幹細胞の異同
慶應義塾大学医学部 須田 年生

定員：300名

参加費：無料

申し込み要領：

- 1) 氏名、勤務先、〒所在地、所属、電話およびFAX番号を明記の上、郵便、FAXまたはE-mailで下記宛お申し込み下さい。
- 2) 事務局より参加証を送付します。
- 3) 参加証は、セミナー開催当日、受付で提示ください。

申込先：

(財)千里ライフサイエンス振興財団セミナー
Z3事務局
〒560-0082
大阪府豊中市新千里東町1-4-2
千里ライフサイエンスセンタービル20階
TEL 06-6873-2001 FAX 06-6873-2002
E-mail tkd@senri-life.or.jp



財団法人黒住医学研究振興財団研究助成事業募集要項

1. 助成事業の対象
研究助成は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究により優れた学術研究・業績を助成事業の対象とし、若手の育成を主眼としています。
2. 応募者資格
医学関連の大学及びその他の教育機関、研究所並びに医療機関等において、本助成事業の対象領域において調査、研究に積極的に取り組もうとする個人及び団体とします。
ただし、大学教授及び国公立研究機関等の部長並びにこれらに準ずる職位の方は除きます。
3. 対象領域
(1) 生化学
(2) 分子生物学（遺伝子学）
(3) 微生物学
(4) 免疫学
(5) 血液学
(6) 病理学
(7) 疫学
の七つの領域とします。
4. 募集期間

平成 21 年 4 月 10 日 (金) から平成 21 年 6 月 30 日 (火) まで。

なお、郵送の場合は当日消印まで有効です。

5. 助成件数及び助成額

助成額は 1 件 100 万円 (最大) を限度とし、10 件以上とします。

原則として単年度としますが、内容によっては助成を 2~3 年継続することも考慮しています。

6. 応募方法

別添所定の交付申請書に必要事項を原則としてタイプ・ワープロ或いは黒インクで記入し、本財団あてに申請者が送付してください。なお、提出数は『原本と複写 2 部』の合計 3 部を送付してください。

☆ホームページ応募要項 <http://www.kmf.or.jp/activity/guideline/research.html> から PDF 及び Word2003 ファイルで申請書を取り出すことができます。

7. 審査方法及び通知

本財団の委嘱する審査委員が七つの対象領域ごとに審査したあと、選考委員会等で選考審査を行い決定します。

その結果は、適当な紙上に発表するとともに本財団ホームページに掲載し、交付決定者にその旨を通知いたします。

8. 助成金の贈呈

平成 21 年 10 月 23 日 (金) の小島三郎記念文化賞贈呈式にあわせて、研究助成金を贈呈し

ます。

9. 助成金受領者の義務

本財団の助成金交付規定により手続きを行っていただきますが、次の (1), (2) の事項を 6 ヶ月以内に提出することになります。

- (1) 研究結果については、2,000 字以内の報告書の提出
- (2) 会計報告の提出
- (3) 研究結果を発表する論文には当財団の助成を受けた旨の附記
- (4) 継続研究の場合は中間報告書の提出

10. 書類の提出先

郵便番号 110-8408

東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル 7

栄研化学株式会社内

財団法人 黒住医学研究振興財団 研究助成委員会宛

(お問い合わせ先)

財団法人 黒住医学研究振興財団 事務局

E-Mail アドレス : info@kmf.or.jp

TEL 03-5846-3504

FAX 03-5846-3514

URL <http://www.kmf.or.jp>

附記

- 申請には下記交付申請書をダウンロードしてご使用ください。
- 所属機関長は大学長、研究所長、病院長及びそれに相当する職域の長であること。
- 応募の書類は一切返却いたしません。



財団法人黒住医学研究振興財団小島三郎記念文化賞推薦依頼

拝啓 春暖の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊財団の活動に格別なるご高配を賜り、誠に有難く厚くお礼申し上げます。

さて、別添の通り、第 45 回小島三郎記念文化賞の推薦票を作成致しました。

本事業は、元国立予防衛生研究所長故小島三郎

博士のご遺徳を永く記念すべく、1965 年 (昭和 40 年) 4 月に創設され、その記念事業の一つとして「小島三郎記念文化賞」が設定されております。

本賞は、故小島三郎博士が広く関係をもたれていた病原微生物学、感染症学、公衆衛生学その他これらに関連した領域において優秀な業績をあげた方に贈呈するものであります。

つきましては、貴殿より以下の審査規定をご参照の上、本賞該当者のご推薦を賜りたくお願い申し上げます。

敬具

審査規定

1. 本賞は「小島三郎記念文化賞」と称する
2. 本賞は病原微生物学・感染症学・公衆衛生学その他これらに関連した領域において優秀な業績をあげたものに贈るものである
3. 審査の対象は原則として最近の業績でありかつ評価の定まったものとする
4. 本賞の審査は本財団が委嘱した選考委員がこれを行う
5. 推薦は本財団が関係領域の学識経験者に委嘱するのを原則とする

6. 本賞の審査は毎年1回行う
附則

- (1) 推薦用紙は、ホームページhttp://www.kmf.or.jp/activity/guideline/kojima_culture.htmlから「小島三郎記念文化賞推薦票」をダウンロードしてご使用ください
- (2) 論文別刷などを同封してください
- (3) 締切りは平成21年6月30日(火)必着とします
- (4) 送付先
〒110-8408
東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7
栄研化学株式会社内
財団法人 黒住医学研究振興財団



大阪大学大学院生命機能研究科説明会のご案内

大阪大学大学院生命機能研究科では、分子から動物個体に至るまで、さまざまな階層での生理現象を、医学・生命科学系のバックグラウンドをもった研究者と、理工学系のバックグラウンドをもった研究者が、学際的な共同研究を行いながら解析しています。また、新世代の生理学研究者の育成をめざし、医学部、歯学部、基礎工学部、工学部、理学部、薬学部、農学部など、多様な学部の出身者を受け入れて相互交流を促し、新学問分野開拓の意欲を伸ばす教育を行っています。博士前期(修士)課程/後期課程を分けない5年制大学院ですが、3年次からの編入制度もあります。本年度、以下の要領で研究科入試説明会を実施しますので、学生の皆さん、奮ってご参加下さい。

1. 日時 平成21年5月30日(土) 10:00~
2. 場所 大阪大学吹田キャンパス コンベンションセンター3階 MOホール
(〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1)
3. プログラム

午前の部 午前10:00~12:30

- (1) 研究科長あいさつ
- (2) 平成22年度入学試験説明
- (3) 教育カリキュラム説明
- (4) 質疑応答
- (5) 生命機能研究科教員紹介

午後の部 研究室訪問実施(訪問を希望する研究室へ移動)

※研究室訪問に際し、事前にアポイントメントをとる必要はありません。

4. 問い合わせ先 大阪大学大学院生命機能研究科
大学院係
TEL 06-6879-4421

研究科説明会に関する詳細は、下記ホームページをご参照ください。

<http://www.fbs.osaka-u.ac.jp/admission/h22/OsakaSetsumeikai.html>

大阪大学大学院生命機能研究科研究科ホームページ

<http://www.fbs.osaka-u.ac.jp/>